

国立国際美術館 [小学校の先生向け] ワークショップ

先生、もう悩まないでください!

図工

さなる  
けたる  
たいく

# 体質改善プログラム



小学校の先生でも、図工はどうしても二の足を踏んでしまうという方が多いのではないのでしょうか。そんな先生方に少しでも苦手意識を克服していただけるかもしれないという朗報です!

講師 KOSUGE 1-16 (こすげいちのじゅうろく)  
アーティストユニット

現代美術作家と一緒に、

鑑賞 美術館の作品を  
ゲーム感覚で読み解き

遊び 「遊び」を思いつく限りたくさん  
作り上げましょう。  
作品の中から表現につなげたい  
造形要素をピックアップし  
いくつかのルール(条件)を設定して

今回のワークショップでは  
「遊び」と呼びますが  
造形活動プランのことです。

みなさんが考案した「遊び」を  
小学校現場で実際に使えるように  
大学の先生と相談することもできます。

講師 渡邊美香 わたなべみか  
大阪教育大学教育学部准教授

2017 3 / 19 [日]・20 [月・祝]

10:30 ~ 16:30 ※2日でひとつのワークショップです

対象 小学校の教職員/小学校の教職員志望の方 [2日間参加できる方]

定員 20名(事前申し込み制/応募者多数の場合は抽選)

参加費 無料 場所 国立国際美術館



国立国際美術館  
THE NATIONAL MUSEUM OF ART, OSAKA

先生、もう悩まないでください！

2017  
3 / 19 [日]・20 [月・祝]  
10:30 ~ 16:30



©現代美術製作所

参考図版



講師紹介



2004年 KOSUGE1-16 個展 ▲  
「Guess sports? 楽しいスボ研」現代美術製作所  
2004年 KOSUGE1-16 ワークショップ ▼  
「MOT OLYMPIC」東京都現代美術館

KOSUGE 1-16 こすげいちのじゅうろく

くるまだ・ちしの つちや・たかし  
2001年に車田智志乃、土谷享のアーティストユニットとして活動開始。作品制作のきっかけは日常のありふれた環境や現象、人のつながりにあることが多く、作品を介して鑑賞者を参加者に変質させ、参加者同士、あるいは作品と参加者の間に「もちつもたれつ」という関係性を構築する。

あいちトリエンナーレ 2010、「こどものにわ」展 [東京都現代美術館 / 2010年]、「The Playmakers」展 [mac birmingham / 2012年] など、出展多数。第11回岡本太郎現代芸術賞 (TARO 賞) 岡本太郎賞受賞。

<http://kosuge1-16.com>

申し込み方法

往復ハガキで下記の宛先までお申し込みください。

ハガキには

- ① ワークショップ名 ② 氏名 (ふりがな)
- ③ 小学校名 [教職員志望の方は現在の状況を記載ください]
- ④ 勤務年数 ⑤ 郵便番号・住所 ⑥ 電話番号
- ⑦ 今回の情報の入手方法

をご記入ください。

- \*往復ハガキの返信面には必ず住所とお名前をご記入ください。
- \*ご友人など、グループでの参加希望は、必ず一枚の往復ハガキでお申し込みください。その際、参加者全員の必要事項をご記入ください。
- \*応募者多数の場合は抽選の上、結果を後日お知らせします。
- \*しめきり後でも、定員に達するまで受け付けていますので、お問い合わせください。

しめきり 2017年3月8日 (水) 必着

宛先 〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-55  
国立国際美術館ワークショップ係

お知らせ/ご注意 ◎ ワークショップの活動風景は静止画、動画ともに記録撮影されます。また、その一部が後日当館による広報活動および講師の活動の一環として公開されることがあるかもしれません。ご了承の上、お申し込みください。

当館への交通について

京阪電車中之島線「渡辺橋駅」(2番出口)より南西へ徒歩約5分

地下鉄四つ橋線「肥後橋駅」(3番出口)より西へ徒歩約10分

JR「大阪駅」、阪急「梅田駅」より南西へ徒歩約20分

JR大阪環状線「福島駅」、東西線「新福島駅」(2番出口)、  
阪神電車「福島駅」(3番出口)より南へ徒歩約10分

地下鉄御堂筋線「淀屋橋駅」、京阪電車「淀屋橋駅」  
(7番出口)より西へ徒歩約15分

市バス「大阪駅前」より、53号・75号系統で、  
「田養橋」下車、南西へ徒歩約3分



国立国際美術館の教職員向けプログラムについて

国立国際美術館では教職員対象に「鑑賞学習を通じた学びを考える会」を定期的開催しています。学校の先生と美術館のスタッフ、また学校の先生同士が鑑賞や美術館活用に関する悩みを分かち合い、相談できるような場づくりを目指し、対象者、学習目標、実践場所等によって大きく異なる実践方法について話し合う会です。その他にも、学校、研究団体のニーズにあわせた教員研修を随時実施しています。美術館と学校の積極的な関わり合いによって、子どもたちに少しでも多くの学びある鑑賞学習の機会がもたらされればと考えています。

**国立国際美術館**  
THE NATIONAL MUSEUM OF ART, OSAKA

〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-55  
お問い合わせ: 06-6447-4680 (代)  
<http://www.nmao.go.jp/>

## ワークショップ

「先生、もう悩まないでください！

図工なるべく避けたい体質改善プログラム」

2017年3月19日(日)～3月20日(月・祝)10:30～16:30

※2日でひとつのワークショップです

講師:KOSUGE1-16(アーティストユニット)、渡邊美香(大阪教育大学教育学部准教授)

対象:小学校の教職員／小学校の教職員志望の方(2日間参加できる方)

定員:20名(事前申し込み制／応募者多数の場合は抽選)

参加費:無料

場所:国立国際美術館

小学校の先生でも、図工はどうしても二の足を踏んでしまうという方が多いのではないのでしょうか。そんな先生方に少しでも苦手意識を克服していただけるかもしれないという朗報です！

現代美術作家と一緒に美術館の作品をゲーム感覚で読み解き(鑑賞)、作品の中から表現につなげたい造形要素をピックアップし、いくつかのルール(条件)を設定して「遊び」を思いつく限りたくさん作り上げましょう。

みなさんが考案した「遊び」(今回のワークショップでは「遊び」と呼びますが、造形活動プランのことです)を小学校現場で実際に使えるように大学の先生と相談することもできます。

### ■KOSUGE1-16(こすげいちのじゅうろく)

2001年に車田智志乃(くるまだ・ちしの)、土谷享(つちや・たかし)のアーティストユニットとして活動開始。作品制作のきっかけは日常のありふれた環境や現象、人のつながりにあることが多く、作品を介して鑑賞者を参加者に変質させ、参加者同士、あるいは作品と参加者の間に「もちつもたれつ」という関係性を構築する。あいちトリエンナーレ2010、「こどものにわ」展(東京都現代美術館、2010年)、「The Playmakers」展(mac birmingham、2012年)など、出展多数。第11回岡本太郎現代芸術賞(TARO 賞)岡本太郎賞受賞。<http://kosuge1-16.com>

### ■お知らせ／ご注意

ワークショップの活動風景は静止画、動画ともに記録撮影されます。また、その一部が後日当館による広報活動および講師の活動の一環として公開されることがあるかもしれません。ご了承の上、お申し込みください。

## ■申し込み方法

往復ハガキで下記の宛先までお申し込みください。

ハガキには、

- 1)ワークショップ名
- 2)氏名(ふりがな)
- 3)小学校名(教職員志望の方は現在の状況を記載ください)
- 4)勤務年数
- 5)郵便番号・住所
- 6)電話番号
- 7)今回の情報の入手方法

をご記入ください。

\*往復ハガキの返信面には必ずご住所とお名前をご記入ください。

\*ご友人など、グループでの参加希望は、必ず一枚の往復ハガキでお申し込みください。その際、参加者全員の必要事項をご記入ください。

\*応募者多数の場合は抽選の上、結果を後日お知らせします。

\*しめきり後でも、定員に達するまで受け付けていますので、お問い合わせください。

## ■しめきり

2017年3月8日(水)必着

## ■あて先

〒530-0005 大阪市北区中之島 4-2-55 国立国際美術館ワークショップ係